

Pはポイント、GDPは国内総生産

国 内		県 内	
2日	<b>4月消費者心理、「弱含み」</b> 内閣府は、4月の消費動向調査で、消費者態度指数(2人以上世帯、季節調整値)が前月比0.7P低下の43.6と発表。	4日	<b>本県子どもの数、前年比2千人減少</b> 総務省は、4月1日時点の外国人を含む14歳以下の本県の子ども数が、前年比2千人減の14万6千人と発表。
4日	<b>子どもの数、37年連続前年比減少</b> 総務省は、4月1日時点の外国人を含む14歳以下の子ども数が、前年比17万人減の1,553万人と発表。	7日	<b>日向市の旧幸脇小校舎に、コールセンター開所</b> 通信販売のコールセンターなどを手掛ける(株)テレネット(東京都)は、日向市の旧幸脇小校舎に「日向コンタクトセンター」を開所。
9日	<b>3月実質賃金、4カ月ぶり前年同月比増加</b> 厚生労働省は、3月の毎月勤労統計調査(速報値)で、実質賃金が前年同月比0.8%増加と発表。	9日	<b>5月県内金融経済概況、判断据え置き</b> 日銀宮崎事務所は、5月の県内金融経済概況で、全体の景気判断を「緩やかな回復を続けている」と判断据え置き。
9日	<b>3月景気動向一致指数、2カ月連続改善</b> 内閣府は、3月の景気動向指数(速報値)で、景気の現状を示す一致指数が前月比0.4P上昇の116.4と発表。	9日	<b>4月県内企業倒産件数、5年6カ月連続一桁台</b> 東京商工リサーチは、4月の県内企業倒産件数が1件で、負債総額が2,000万円と発表。
10日	<b>4月街角景気、2カ月連続改善</b> 内閣府は、4月の景気ウォッチャー調査で、街角の現状判断指数(季節調整値)が前月比0.1P上昇の49.0と発表。	15日	<b>17年度県産牛肉輸出額、過去最多を更新</b> 県は、2017年度の宮崎牛をはじめとした県産牛肉の輸出額が、前年度比40.5%増の35億4千万円(速報値)と発表。
10日	<b>17年度末「国の借金」、過去最多を更新</b> 財務省は、国債と借入金、政府短期証券を合計した「国の借金」が、2017年度末時点で1,087兆8,130億円と発表。	15日	<b>県などが、事業承継支援に新拠点開設</b> 県と宮崎商工会議所は、後継者のいない企業の事業承継を支援する「県事業承継ネットワーク」を宮崎市内にオープン。
10日	<b>17年度国際収支経常黒字額、10年ぶり高水準</b> 財務省は、2017年度の国際収支速報で、経常収支の黒字額が前年度比3.4%増の21兆7,362億円と発表。	20日	<b>油津港周辺地域、みなとオアシスに認定</b> 国土交通省港湾局は、日南市の油津港周辺地域を、港を中心とした地域振興に取組む「みなとオアシス油津」として登録。
14日	<b>4月企業物価指数、16カ月連続前年同月比上昇</b> 日銀は、4月の国内企業物価指数(速報値)が、前年同月比2.0%上昇の100.4と発表。	21日	<b>日南市の誘致IT関連企業の雇用、100人突破</b> 日南市は、2016年4月以降誘致したIT関連企業が雇用した人数が、21日現在で105人になったと発表。
16日	<b>1~3月期GDP、9四半期ぶり前期比マイナス</b> 内閣府は、1~3月期のGDP(季節調整値)速報値が、実質で前期比0.2%減、年率換算で0.6%減と発表。	24日	<b>17年度宮崎-神戸間トラック輸送、過去10年で最多</b> 宮崎-神戸航路を運航する宮崎カーフェリー(株)は、2017年度のトラック輸送台数が前年度比981台増の7万1,870台と発表。
17日	<b>3月機械受注、3カ月ぶり前月比減少</b> 内閣府は、3月の機械受注統計(季節調整値)で、「船舶・電力を除く民需」の受注額が前月比3.9%減の8,566億円と発表。	25日	<b>17年度宮崎空港国内線利用者、300万人突破</b> 県は、2017年度の宮崎空港を発着する国内線の利用者が、前年度比3.4%増の306万9,192人と発表。
18日	<b>今春大卒就職率、過去最高を更新</b> 厚生労働、文部科学両省は、今春卒業した大学生の4月1日時点での就職率が、前年同期比0.4P上昇の98.0と発表。	25日	<b>17年本県スギ丸太生産量、27年連続日本一</b> 農林水産省は、2017年の本県のスギ素材(丸太)生産量が181万立方メートルで、27年連続で全国1位と発表。
18日	<b>4月消費者物価指数、16カ月連続前年同月比上昇</b> 総務省は、4月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除く)が、前年同月比0.7%上昇の100.9と発表。	26日	<b>宮崎市高岡町に、地域交流施設が開設</b> 宮崎市高岡町に、住民交流や地場産品の情報を発信する拠点として、新たな地域交流施設「TAKAOKAつなぐ」がオープン。
21日	<b>4月貿易収支、2カ月連続黒字</b> 財務省は、4月の貿易統計(速報・通関ベース)で、貿易収支が前年同月比30.9%増の6,260億円と発表。	28日	<b>17年度本県農水産物輸出額、過去最多</b> 県は、2017年度の本県農水産物の海外輸出額が、前年度比11億9,280万円増の46億4,190万円(速報値)と発表。
30日	<b>5月地域景況判断、2地域を引き上げ</b> 内閣府は、5月の地域経済動向で、北海道と中国の2地域の景況判断を前回2月調査から引き上げ発表。	29日	<b>4月県内有効求人倍率、過去2番目の高水準</b> 宮崎労働局は、4月の県内有効求人倍率(季節調整値)が、前月と同じ1.50倍と発表。